

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1271300251		
法人名	有限会社高梨ウェルビーイング		
事業所名	あったかさん		
所在地	千葉県野田市上花輪134-4		
自己評価作成日	令和6年2月21日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/12/index.php">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/12/index.php</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座6-13-9 GIRAC GINZA8階bizcube
訪問調査日	令和6年3月4日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

ホームは沢山の花や木、昔ながらの蔵が隣接するなど、静かで情緒ある環境の中にあり、四季の移り変わりを感じながらゆったりと生活できる場所です。時期になると採れた野菜なども食事に出るなど自然に溢れています。また玄関先で 植物を見ながら日光浴も楽しめ、天井の高い屋内では入居者が日中ゆっくり過ごせるようなフロアとなっており、レクなどを楽しむ時間を設けております。何と言っても 食事担当による手料理が美味しいため 食事を楽しみにされている方には特に満足して頂いています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

新型コロナウイルス5類移行後も基本的感染対策を取りながら、ホーム内での季節行事を中心に利用者の楽しみや活動の幅を広げていけるように一丸となり取り組んでいます。また天候や気候の良い時期にはホーム周辺の散歩にお連れしたり、敷地内での日光浴なども少しずつ再開しています。職員の離職も少なく、利用者も馴染みの職員から日々ケアを受けることができ、大きな安心感につながっています。特に食事作りには力を入れており、食の見た目にも配慮して味はもちろんのこと視覚的にも楽しむことができるように盛り付けにも配慮しており、日々の美味しい食事は利用者の健康の維持にもつながっています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者とスタッフは理念に基づきながら、仕事をしています。入居者様の安心や尊厳のある生活を可能な限り自立して営むことが出来るように 個別のケアを取り組んでいます。	認知症によって自立した生活が困難になった利用者様に対して、家族的な環境のもとで食事・入浴・排泄等の日常生活の中で心身機能を行うことにより安心と尊厳のある生活を可能な限り自立して営むことができるよう支援する事を理念に掲げ、職員全体で共有し日々取り組んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	これまで事業所は地域住民と交流しており、関係も続いている。来年度こそ 近隣の方とも話し合いながら 一緒に楽しめるようなイベントも開催していきたいと思っています。	感染症対策を継続していたため、地域行事の参加とまでは至りませんでした。8月に実施した運営推進会議に町会長や地域の代表者の方をお呼びして意見を交わすことができました。今後はボランティアの受け入れや地域行事の参加などの再開も検討しています。	今後は感染症の状況などを確認しながら少しずつ地域との交流を再開し、利用者の活動の幅をより広げられるとよいと思います。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナが5類になったとはいえ、なかなか地域貢献に向けての動きがとれませんでした。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナの影響で十分に開催することができませんでした。来年度は2カ月に1回のペースで開催していきたいと思っています。	令和5年度は8月に運営推進会議を開き、町会長、地域の代表者、市議会議員、利用者家族の参加を受けて、現状報告や参加者と意見を交わすことができました。感染対策もあり継続的に実施できていないことが課題となっています。	今後に向けては、2ヶ月毎定期的に実施を図り、地域関係者との意見交換の場をさらに増やし、サービスの質の向上につなげられると良いと思います。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営上 市の担当課に連絡を入れることが多いため指示を仰いでいる。ホーム側の質問には丁寧に回答を受ける事が出来ているため、今後も協力機関と連携しながら運営していきます。	運営上 相談ごとや手続きでの不明なことにおいては市の担当課へ連絡を入れて必要な指示を仰いでいます。今後も担当課とは密に連携を図りながら情報を収集し、協力関係を築いていきたいと考えています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在当ホームでは身体拘束は行っておりません。管理者および全てのスタッフが身体拘束をしないケアについて正しく理解し取り組んでいます。	身体拘束の無いケアの実践に向けて、毎月の職員会議の中で身体拘束の発生が無いかについて全体で確認をするほか、身体拘束廃止に向けた研修を実施して職員一人一人の意識を高めています。	今後に向けては身体拘束適正化委員会及び身体拘束廃止に向けた研修の実施記録を残して、所定ファイルに綴じ職員間で共有できる体制を築くことが望まれます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	虐待はないと思っていますが、スタッフの声掛けや介助法については注意して見るようにしております。		

あったかさん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者様の生活状況や権利擁護においては 実際に入居者様を担当されている方がどのようなことで関わって下さっているかをスタッフ全員理解しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には十分な説明を行い 家族等の疑問点にもこたえています。退所時や認知症の進行状況等を理解して頂くよう努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様と面会時や状況変化時の電話連絡でその都度 要望を聞きながら納得のいく対応が出来るように努めています。	家族からの意向や要望については面会時やケアプランの説明の際に確認し、要望等が出た場合には迅速に対応しています。利用者からの要望等は日常会話から収集し、日々の生活の中で反映できるように努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃スタッフとの会話やカンファレンス、ミーティングを通じて、コミュニケーションを大切にしながら 意見や提案を取り上げて検討するようにしています。	管理者は日頃から職員との会話を大切にしており、都度意向や要望等会話を通して確認しています。また定期的なケアカンファレンスを通して支援に関する意見を確認し、支援方針や職員からの意見の共有化を図っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が不満なく就労していただけるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	リモートや市の研修に参加し研修を受けています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	リモート時、他事業者と交流は持てたものの面と向かって交流する機会は難しかった。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人様が安心してホームで暮らせるようにお試し入居を行っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居決定に伴い、ご本人はもとよりご家族の意向や要望を聞きながら 不安を解消出来るように努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族・ケアマネージャーのお話を聞いた上で入居していただくよう進めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の意向や要望を傾聴そしながら 共に生活する家族の様な存在として接するよう日々努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の意向を尊重しながら家族とも共働の形をとりながら支援努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまで関わりのあった人との触れ合いを大切にしながら なじみの場所が途切れないように努めます。	馴染みの人や場所との関係性が継続できるように、友人の来訪なども受け入れています。馴染みの場所への外出については多くありませんが、利用者の自宅に一時的に帰宅して庭の様子を確認して頂くなどのケースもあります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	新しい入居者や認知症状の進行もありなかなか上手く入居者様同士が溶け込むことは容易ではありませんが、スタッフが間に入りながら共にホームで支え合える関係を常に目指しております。		

あつたかさん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後は特に面会などすることはなく、必要に応じて支援するよう引き続き努めております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の入居者様の思いや会話は記録として残しておりますので、気持ちの変化などいち早くお答えできるよう心掛けております。	日々の入居者様の思いや意向については職員が日常会話から収集しながら日々の生活に反映できるよう努めております。またケアプランの更新や変更時にはアセスメントを実施し現状や課題等を分析しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人だけでなくご家族とも電話や面会時に話を伺いながら生活歴や生活環境を理解し対応しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々のペースに合わせながらも集団として行える時間も大切にしながら無理なく進めております。その中でいち早く心身状態の変化に気づけるようにスタッフ一同記録や声かけを大切にしております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人からの話しや家族、スタッフでカンファレンス時に話し合った内容を元に介護計画を立てています。また計画を振り返り、モニタリングしながら達成度についても把握しながら計画をすすめております。	アセスメントで抽出した情報、利用者本人、家族、職員の意見を担当者会議で話し合い、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランの進捗については毎月モニタリングで確認し、6ヶ月毎ケアプランを更新しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づきは細かく記録に残しながらスタッフ全員で共有し支援を見直しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	1人1人の意向を尊重しペースに合わせながらも時々生まれるニーズに応じていけるよう柔軟な支援を提供いくことを心掛けながら取り組んでいます。		

あったかさん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会・民生委員・近隣の方たちに協力して頂いています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医やホームドクターと連携しながら医療が受けられるように支援しています。提携先医療機関とは月2回の往診を通じて密に連携を図っています。	ホームの提携先医療機関とは月2回の往診を通して連携を図っています。利用者の体調に変化が生じた際にも迅速対応できる体制としています。救急時には市内の総合病院へ速やかに搬送し必要な医療が受けられるように努めています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	主にかかりつけ医の指示や服薬、訪問歯科や薬剤師からの指示などを受けながら細かい注意点に気をつけて支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、スタッフはご本人や家族、医療機関に対して情報交換するなど協力しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期については入居時に方針を説明した上で、その時期が近づいた際には再度相談し対応させて頂いています。重度化が進んでいる場合は主治医や家族と今後の方針について検討することとしています。	重度化した場合や終末期の在り方については、ホームとして取り組める範囲を利用契約時に家族に丁寧に説明しています。ホームで生活を送る中で重度化が進む際には、主治医、家族と今後の方針を検討し、家族とも情報共有を図り対応していくこととしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	感染症や急変時の講習は市役所やZoomで受け 実践力を見につけております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に消防署の訓練やホームの点検は行っております。水害におけるハザードマップで確認し 備蓄や井戸の整備にも努めております。	令和5年度は10月に、地震と火災を想定した避難訓練を実施しています。水害に備え、市のハザードマップを職員全体で確認しています。作成が義務付けられた事業継続計画(BCP)も年度末にかけての完成を目指して現在作業を進めています。	避難訓練については年間2回定期的に実施していく事や、作成を進めている事業継続計画(BCP)完成後は職員とも共有化はを図り実用性の高い計画書になることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人1人の人格や生活を尊重しながら本人のプライドを傷つけないように声かけや接し方に注意しています。会議を通じて適切な対応が図れるよう取り組んでいます。	日々、利用者の人格を尊重しスタッフ間での会議を通じてご入所者様の言動を振り返りながらスタッフの意識強化にも繋げています。トイレ誘導時や居室への出入りにおいてもプライバシーに配慮し対応しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人のその時の気持ちを大切にしながら意向を伺うように注意しております。そのためにも普段からのコミュニケーションを多く図るよう心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおよそ 1日の時間の流れはありますが1人1人のペースで無理なく お声かけしながら気持ちを確認するように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で選べる方にはご自分で選んで頂き、ご本人の身だしなみやおしゃれについては一緒に気をつけています。定期的に訪問理容を利用しながら希望のカットにしています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片付けにはできるだけご入居者にも関わって頂きながら行っています。ホームに在中する食事担当スタッフの手料理を提供し、楽しい食事の時間を過ごしていただけるよう努めています。	食事は日々手作りで、毎日おいしく、栄養バランスの取れたおいしい食事を提供しています。食の見た目にも配慮して味はもちろんのこと視覚的にも楽しむことができるように盛り付けにも配慮し、日々楽しい食事となるように努めています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量 食事量はその都度記録しながらご入居者の体調面にも注意し支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後スタッフと一緒に1人1人 丁寧に口腔ケアや義歯チェックを必ず行い 歯ブラシや義歯ケースの消毒も徹底しています。		

あったかさん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を用いながら排泄状況を把握しています。1人1人のタイミングや定時誘導をしながら心地よく過ごして頂けるように支援しております。	排泄チェック表からタブレット端末へ入力するなどし、データを職員間で共有出来るよう努めています。利用者個々のタイミングや定時誘導することができており、排泄の失敗も防ぐことができています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を見ながら便秘傾向の方には朝 牛乳を提供したり、食事形状・量・水分調整するなど 個々に工夫しております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご入居者の体調やペースを見ながら 週2～3回の入浴ができるように支援しております。入浴時は浴室を温め 温度差がないように安全に行っております。	利用者一人一人の体調を確認して 本人の要望を大切に週に2～3回の入浴ができるように支援しています。足が冷える方には更衣時に足浴をするなど柔軟に対応を図っています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人1人のペースに合わせ 昼食後に昼寝をする方がいるなど様々です。ご本人の生活リズムを守りながら支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時にはスタッフ間でダブルチェックをし 医師に相談や報告しながら 量の調整などの確認に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人ができることに着目しながら 楽しく喜びが得られるよう、気分転換して頂きながら支援することを心掛けております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	以前は毎日散歩をしていましたが、コロナが長引いている影響で なかなか難しい状況が続いています。玄関先での日光浴は出来る時に無理なく行うこととしています。	感染症予防のため外出行事は実施していませんが、天候や気候の良い日にはホームの敷地内で日光浴をして頂いたり、ホーム周辺の散歩に個別もしくは小グループでお連れして戸外に出かけられるように努めています。	

あったかさん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほとんどの方が金銭は所持していません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一部の方が希望で手紙を出されています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームから見える外の景色(花や木々)は定期的に整備し 入居者様だけでなく スタッフも気持ちよく働ける環境づくりを心がけています。またリビングや居室の装飾も入居者様と一緒に進めています。	利用者が集うリビングスペースは天窓からの日差しも差し込み明るい雰囲気です。リビングの装飾も季節ごと工夫し、季節感が感じられるようにしています。日々の掃除により衛生面に配慮しているほか、消毒や換気も徹底し感染予防につなげています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ほとんどの方がリビングスペースで過ごされていますが、ご本人の気持ちを大切にしながら 傾聴と声掛けに努めています。また席の配置についてもスタッフで注意し 入居者様の声を聞きながら支援しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は居心地よく過ごせるように馴染みの物や家具を設置したり、ご要望に合わせて受け入れております。日々の掃除をはじめ入居者様が安全に転倒の危険性があるものは日々整備しております。	居室内でも居心地よく過ごせるように、これまでの馴染みの物の持ち込みを可能とするほか、家具等のレイアウトについても本人や家族の要望を尊重しています。衛生面についても日々の掃除により徹底しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	1人1人の出来る事を見つけ、尊重しながらスタッフが一緒に 安心・安全出来る環境づくりを目指し 工夫しております。		